

プログラムの概要

総合人間形成課程では、教育学部の幅広い学びを活かし、複雑で多様な社会において学際的な教養人として貢献できる人材の養成を目的とします。学際的な課題が山積する現代社会において、その今日的な諸課題に対応できるような学びを行うために、教育学部の専門性を6つの領域（人間発達領域・言語文化領域・地域公共領域・環境創造領域・芸術文化領域・スポーツ健康領域）に分けて、それらを学生自身の設定したテーマに応じて比較的柔軟に履修ができるようにしています。学生は、自ら設計する履修計画に基づき、将来のキャリアを明瞭にしなが、多様な学びを活かした自己形成を目指します。

修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

教育学部では、本課程において以下の学修・教育目標に掲げた能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与します。修了の認定は、所定の単位修得に加え、「卒業研究 B」（カリキュラム設計科目）及び「卒業研究 A」（領域専門科目）で行います。

- (A) 社会や文化の形成に関する知識を修得し、自らの専門領域について深く理解している。
- (B) 知識基盤社会における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて適切に判断できる。
- (C) 社会や文化の形成に関する活動に取り組むため、専門的技能と幅広い表現力を身につけている。
- (D) 実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる。
- (E) 社会人としての自覚と責任感をもち、多様な人々と共生しながら社会や文化の形成に貢献できる。

履修条件（アドミッション・ポリシー）

総合人間形成課程では、次のような資質・能力を身につけている人を求めます。

- ・高等学校における履修内容を理解し、その知識や実技能力を身につけている。
- ・ものごとを複数の視点から考察し、自ら判断することができる。
- ・考えや気持ちを的確に表現することができる。
- ・人間の諸活動と社会や文化の形成について関心があり、社会に積極的に貢献する意欲がある。
- ・様々な活動に主体的に取り組めるとともに、共感性や思いやりの心をもって行動できる。

入学者選抜においては、求める学生像に基づき、一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）、特別選抜（推薦入試Ⅰ）等の多様な選抜方法により入学者を選抜します。

学修・教育目標を達成するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

学修・教育目標を達成するために、カリキュラムは主に以下の3つの科目で構成されています。具体的には、次ページのカリキュラムツリーに示すような授業科目が編成されています。

- 教育基礎科目：教育学部では、「人に対して教える・人を育てる」ということを大切にしたい学びを行います。この学びを社会のあらゆる場所で活かすために必要な、基礎的な知識を修得するための科目です。
- 自己開発科目：この科目は大きく3つに分かれています。自律性を重視しながら、学生自身が学修・研究テーマを設定し、それにふさわしい授業を選択し実際に履修計画を立案する授業や、自律的な履修の総まとめを行い、卒業時に大学での学びから得たものについて公表をおこなう授業などで構成された「カリキュラム設計科目」、学問的な思考や態度を重点的に修得できる機会を確保した「基礎力養成科目」、そして、学士力や社会人基礎力としても重要視され、実社会でも求められている基礎的コミュニケーション力をトレーニングし、その力量と領域で学んだ専門的力量の統合を図っていくための「実践力養成科目」です。
- 領域専門科目：教育学部の専門性を6つの領域（人間発達領域・言語文化領域・地域公共領域・環境創造領域・芸術文化領域・スポーツ健康領域）に分けて、それらを学生自身の設定したテーマに応じて専門性を修得するための科目です。

総合人間形成課程 カリキュラムツリー

